

Title	日本企業のIT戦略による持続的競争優位に関する考察 - IT戦略の問題抽出～解決方法まで -
Sub Title	
Author	小林, 賢一(Kobayashi, Kenichi) 柳原, 一夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2047号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2047

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	柳原研究会	学籍番号	80430428	氏名	小林 賢一
(論文題名)					
日本企業の IT 戦略による持続的競争優位に関する考察 —IT 戦略の問題抽出～解決方法まで—					
(内容の要旨)					
<p>本論文では、企業が競争優位を達成するために、一つのツールとしてどのように IT (戦略) を戦略的に活用していくべきか、また成功するためにはどのような要因が必要であるかについて述べられている。</p>					
<p>研究方法としては、IT 戦略に関わる諸問題を取り上げ、その内容を参考にしながら先行研究、アンケート調査、インタビューを通じ事例研究を実施した。</p>					
<p>その結果 IT (戦略) というものは各企業が置かれている環境、持っている経営資源、進むべき方向などにより活用の仕方が異なるため、各社絶対的なセオリーは存在しない。また IT 戦略だけでは持続的な競争優位性は築くことは難しいことが分かった。しかし、IT 戦略を活用して持続的に競争優位を築くことは可能であり、成功している企業には</p>					
“IT 戦略に落とし込む前の経営戦略の段階で優位性がある”					
“IT 戦略が経営戦略と一体感がある。整合性が高い”					
“IT 戦略を実行レベルに落とし込む際、業務プロセスとの整合性が高い”					
“うまく運用するための組織構成、IT 部門・CIO の役割で工夫がされている”					
“実行プロセスでのトップダウン、社内のコミュニケーションにおける工夫”					
という共通した事項が確認できた。					
<p>また研究で当初感じていた“経営戦略を超える、IT (戦略) が存在しないのか?”という疑問についても、自分なりに“経営戦略に IT 戦略は従う”ことが解釈でき、“IT 戦略において IT 技術だけでは、持続的な競争優位を築くことは難しい”こともある程度理解することができた。</p>					
<p>研究を通じて自分なりに新たな視点も養うことができた。具体的には“経営戦略に対して IT が制約となることはないか?”、“IT 活用を経営のシステム (仕組み) として捉える”の以上二点である。結果として経営戦略の制約となる IT (戦略) が存在することが判明した。IT 活用を経営の仕組みとして捉えることもインタビュー結果から具体的な事例として理解することができた。</p>					